

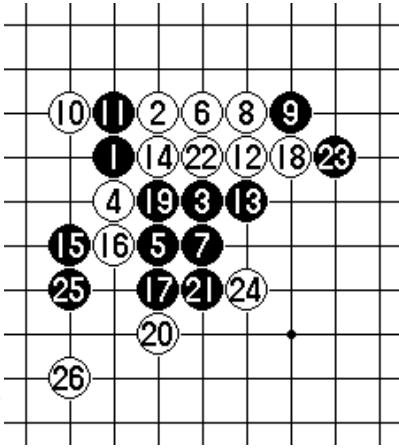
連珠っておもしろい

九段 河村典彦

●第17回●

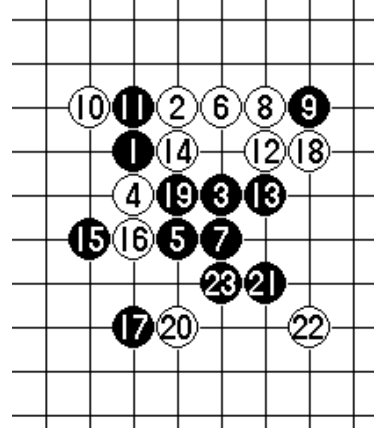
水月定石の変化②

前回の水月定石の答えである。もう一度前提を確認すると、水月残月共通の白4の防ぎに黒5は定石で、対して白6が独特の防ぎである。黒7と組んで勝ちなのだが、白14と単に三を打つ手が解決しなかった。例えば黒25まで打つても白26で勝ちがない。(前号からの再掲)



まあこういうのは連珠クラスでのちよいどいい題材

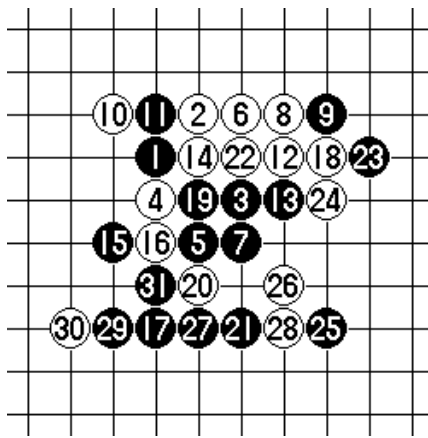
と思い、私が講師の時に聞いてみた。すると、瞬時に帰ってきた答えが次の図。



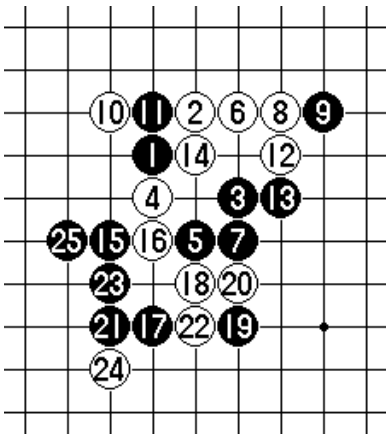
黒17!と飛ぶのがはっとさせる一手である。一瞬「何だ?」と思わせる手だが、その訳は後でわかってくる。同じように白18から20と止めると、黒21、23と打つて簡単に勝ちになる。さっきは23の手が三々になつて打てなかつたのが、この17であれば三々にならず勝ちという事なのである。まさに目から鱗の心境であった。

変化を確認してみよう。白20は有力だが、黒21と打

てば白は22より取るしかなく、黒23の時点で全四追いになっている。

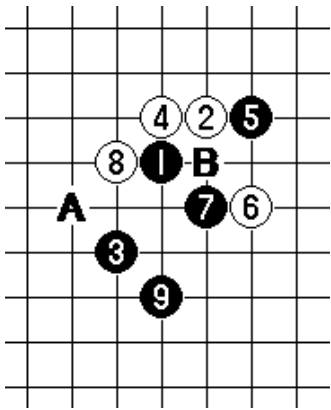


また、白18を中止めなら、黒19が当然ながら正解で、白20を上止めなら前図とほぼ同様なので中止めだが、



これなら後は黒簡単である。以上、黒17さえ見つければ勝てることがわかった。定石の裏に隠された変化を追ってみるのも結構楽しいし、思わぬ宝物が掘り出されることもある。ただし、実戦で使おうと思っても、黒5や7で外される場合も想定しておかなければならない。実際には定石の罫に嵌めるのは成功確率が低い、それを知っているかないかの差は大きい。

さて、今回はスペースが余ったので、名人位決定戦のことにも少し触れてみよう。今回のキーとなった第3局である。

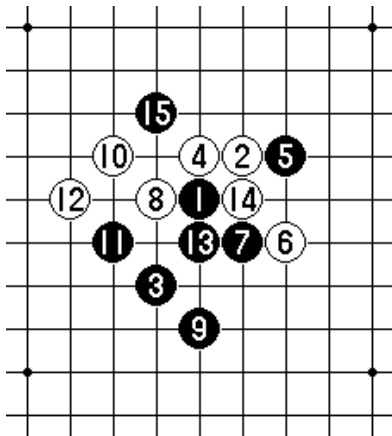


ともかくにも最近では余り打たれない名月が決定戦に出たのは良いことだ。定石ではないが、白6の作戦が使えたとA級リーグ使われたことが背景にある。こうして「黒勝ち」で片付けられていた作戦に陽が当たると、まだまだ可能性があると**思**わされる。

白6を打たれた時ようやく私もそのことに気づき、真剣に考えてみた。黒9をAの時白9を打たれるのはやっぱり急所だなあと**思**っている、ならばそこに打つのはどうかという考えが浮かん**だ**。随分考えたが、とりあえずすぐに負けはなさそうなので打って**み**た。当然相手も予期して**い**ないはずだったので、必殺の妙手までは**あ**ったとしても**出**せないだろうという**実**戦的考えも**あ**った。そして、こういう作戦はどこか**で**変化することを**ま**ずは**考**えた方が**無**難である。研究量

は負けているはずだし、実際長谷川氏当人がA級で打っていたのが大きい。局後検討で**思**わぬ変化を見つけている場合も**想**定されるから**あ**る。

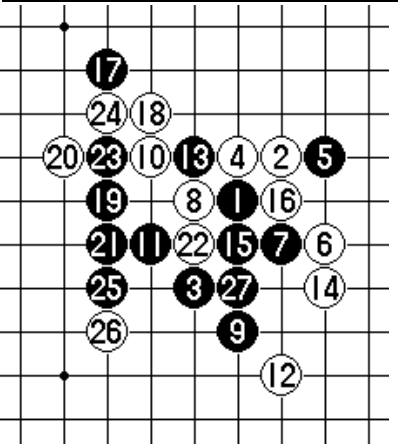
そんなこんなで黒9を打ったが、白10も当然長考する所である。読んでいるうちにいろいろな手が**浮**かん**だ**が、AかBに三引きする以外の手は**考**えられ**な**かった。しかし、打たれたのは白10**で**あ**っ**た。



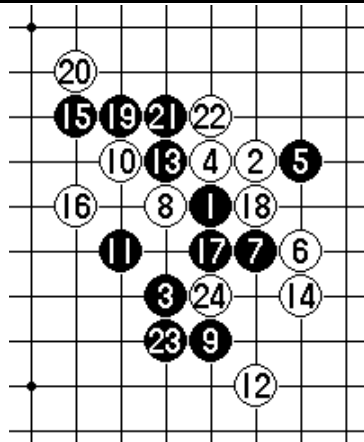
打たれた瞬間「失着では？」と**感**覚的には**思**った。何より黒11の地点を**無**条件に打たせてくれるとは**非**常

に**あ**りがたい。しかし、白12には一番**予**想外**だ**った。本局で一番**予**想外**だ**ったと言っても**良**い。白12は当然上から**止**め、以下黒15までは必然の**展**開**と**思**っ**て**い**たから**だ**。それを**反**対**で**は白10と**せ**っ**か**く**脅**した意味が**無**くな**っ**てくる。作戦が**ち**ぐ**は**ぐ**な**感**じ**が**し**たが、白はこの図を**嫌**ったの**だ**ら**う**。

この形では黒13の地点が急所**で**、**剣**先が**一**気**に**2本**増**えるし、ここに石が**入**ると黒の形が**締**ま**っ**てくる。私の以下の**組**み立**て**ても、いかにしてそこに石を**い**れるかを**意**識した**も**の**と**な**っ**た。



黒13は打つかどうか悩んだ**の**だ**が**、次の黒15の時点**で**四**追**いに**気**がついて**い**れば**自**信を持って打**っ**て**い**たはず**で**ある。黒15の時の四**追**いは本譜**で**15を打**っ**た後**気**づいた**の**だ**が**、白16**で**20と**止**める手**を**考**え**て**い**な**か**った**の**でそれを考**え**て**い**るうちに、**そ**れ**な**ら**15**から四**追**い**だ**ったと**気**がついた。



それでも**念**願の17、**決**め手**と**思**っ**た23を打**っ**た時**に**は勝**っ**た**と**思**っ**て**い**た**の**だ**か**ら仕方が**な**い。黒23から24、23**な**ら勝**ち**が**あ**った**の**だ**が**、**最**後**ま**で軌道修正は**で**き**な**かった。